



# ドイチェ・ジャパン・グロース・オープン (愛称: 咸臨丸)

追加型投信/国内/株式

月報

平成22年1月29日現在

## 【ファンド基礎データ】

基準価額	7,854円	純資産総額	2,461百万円
設定日	平成11年7月30日	決算日	(原則) 毎年3月10日
信託期間	無期限	当初設定元本	15,599百万円
信託報酬率	信託財産の純資産総額に対して年率1.89% (税抜1.80%)		

## 【分配金込基準価額と合成指数、東証2部株価指数、ジャスダック指数の騰落率】

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	-2.47%	-3.25%	-7.64%	-1.85%	-51.50%	-27.07%	-17.14%
合成指数	3.94%	1.22%	-1.02%	15.34%	-45.08%	-38.08%	-2.44%
東証2部株価指数	1.33%	-3.59%	-6.72%	10.69%	-49.97%	-35.62%	-7.56%
ジャスダック指数	6.53%	6.03%	4.21%	17.22%	-43.96%	-46.16%	-16.15%

## 【基準価額と合成指数、東証2部株価指数、ジャスダック指数の推移】



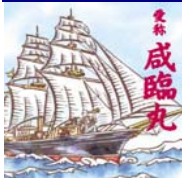
当ファンドは、東証2部株価指数およびジャスダック指数並びに合成指数をベンチマークとするものではありません。したがって、同指数に対して一定の投資成果を挙げること为目标としておりません。ファンドの運用実績は、同指数とは異なるものと予想します。

(受益者の皆様に中小型株市場全体の動きをより広範にお伝えするため、2007年9月28日より割安株の比率が高い東証2部株価指数に加え、ジャスダック指数およびこれらの合成指数を追加することで、中小型株が持つ成長性の要素を反映させていただきました。)

- ※ 合成指数＝東証2部株価指数 (配当込み) × 50% + ジャスダック指数 × 50%
- ※ 合成指数、東証2部株価指数、ジャスダック指数は、設定日 (平成11年7月30日) を10,000として指数化しています。
- ※ 分配金込基準価額は、信託報酬控除後の価額をもとに、分配金 (税引前) を再投資したものと計算しています。
- ※ 当資料の表やグラフの実績は過去のものであり、将来の投資成果や運用内容を保証するものではありません。
- ※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。

当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社で作成した資料です。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。外部データ等の参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券 (外貨建資産には為替変動リスクもあります。) に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料記載の個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。取得のお申込みに当たっては、販売会社より投資信託説明書 (交付目論見書) をお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。



# ドイチェ・ジャパン・グロース・オープン (愛称: 咸臨丸)

追加型投信/国内/株式

平成22年1月29日現在

【上位10銘柄】

平成21年12月30日現在

	銘柄名称	銘柄コード	業種	組入比率
1	ドン・キホーテ	7532	小売業	3.7%
2	エア・ウォーター	4088	化学	2.6%
3	ニトリ	9843	小売業	2.5%
4	フェローテック	6890	電気機器	2.4%
5	グリー	3632	情報・通信業	2.1%
6	ヤクルト本社	2267	食料品	2.1%
7	栗田工業	6370	機械	1.8%
8	SANKYO	6417	機械	1.7%
9	ブラザー工業	6448	電気機器	1.5%
10	宇部興産	4208	化学	1.5%
上位10銘柄の合計				21.9%

※ 比率は対純資産総額比です。

※ 上位10銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。

銘柄数：91

【資産構成比】

株式	98.6%
C B	0.0%
ワラント	0.0%
現金等	1.4%

※ 比率は対純資産総額比です。

【上位5業種】

1	化学	14.2%
2	機械	12.3%
3	小売業	9.2%
4	電気機器	8.4%
5	銀行業	7.8%

※ 比率は対株式評価総額比です。

【市場別組入比率】

市場	銘柄数	組入比率
一部市場	86	90.3%
二部市場	0	0.0%
ジャスダック	4	6.3%
マザーズ	1	2.0%
ヘラクレス	0	0.0%
その他	0	0.0%
総計	91	98.6%

※ 比率は対純資産総額比です。

※ 「一部」・「二部」は、東証、大証、名証の各一部・二部市場を表します。

※ 「その他」は、地方単独上場銘柄および上記以外の市場の銘柄を表します。

【直近5期の税引前分配金実績(1万口あたり)】

分配金累計： 1,000 円

第6期 (平成17年3月10日)	第7期 (平成18年3月10日)	第8期 (平成19年3月12日)	第9期 (平成20年3月10日)	第10期 (平成21年3月10日)
0円	1,000円	0円	0円	0円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。  
 当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。外部データ等の参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料記載の個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。取得のお申込みに当たっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。



# ドイチェ・ジャパン・グロース・オープン（愛称：咸臨丸）

追加型投信/国内/株式

平成22年1月29日現在

## 〔市場概況〕

1月の日本株式市場は概ね軟調な展開となりました。月初は、米国や中国で発表された経済指標が景気回復の継続を示したこと等が好感され、堅調に推移しました。また、大手金融機関の公募増資が実際に発表されたことで、悪材料出尽くし感が高まったことも金融株を中心に株価を後押ししました。しかし、月後半に、米大手金融機関の決算内容をきっかけに市場は下落に転じ、中国の金融引き締めや、米国で発表された金融規制強化案等も株価を押し下げる要因となりました。また、為替が円高に進んだことも輸出企業を中心に相場の下押し要因となりました。今月の市場別騰落率はTOPIXが-0.7%、ジャスダック指数が+6.5%、東証マザーズ指数が-0.9%、大証ヘラクレス指数が+2.0%となりました。ジャスダック指数及び大証ヘラクレス指数では、指数に占める比率の高いインターネット株や金融関連株が好調な業績発表を背景に高騰したことが指数全体を押し上げました。

## 〔運用状況〕

1月の基準価額は2.5%下落しました。中国を中心とした景気回復から需要回復が期待された金属メーカー株や、米国に加えて新興国での売上増加が期待されるスポーツ用品メーカー株の上昇がプラスに寄与しました。一方で、特段の悪材料はないものの相場全体の地合の悪さに押された小売株や、業績好調ながらもこれまでの上昇を受けて一時的な売り圧力が高まったインターネット株の下落がマイナスに影響しました。今月は、ポートフォリオの分散を意識しつつ、静観としました。

## 〔市場見通しと運用方針〕

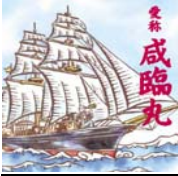
1月の日本株式市場は軟調な展開となりましたが、外国人投資家による日本株式の買い越しが見られることや、世界的な景気回復が進んでいること等が株価を後押しするものと思われます。今後発表が本格化する10-12月期決算については、企業は既にコストカットを行っているため、世界的な景気回復に伴う売上増加により概ね良好な内容となると見えています。さらに、中国をはじめとして好調なアジア経済や、温室効果ガス削減等の環境事業の進展からも恩恵を受けると見えています。日本は輸出企業の占める割合が多く、企業業績は為替に大きく影響されるため、市場の動向を注視する必要があると考えています。

短期的な市場動向には不透明感が残ることから、中長期的な業績の伸びに対する確度が高く、財務状態が健全な銘柄を中心に業種間の分散を意識したポートフォリオを維持する方針です。一方で、個別企業の業績動向等を注視しながら機動的な対応をとることも併せて検討していきます。

※将来の市場環境の変動等により、上記運用方針が変更される場合があります。

投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。

当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。外部データ等の参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料記載の個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。取得のお申込みに当たっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。



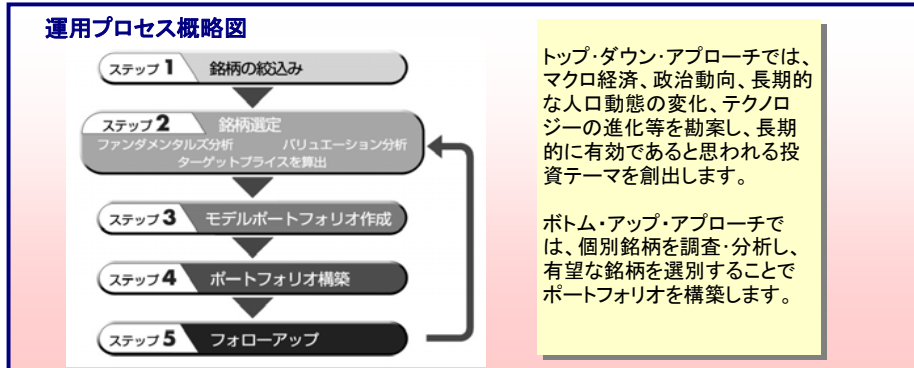
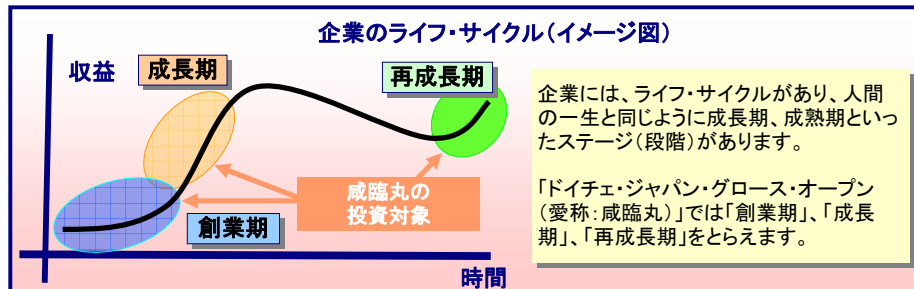
# ドイチェ・ジャパン・グロース・オープン (愛称: 咸臨丸)

追加型投信/国内/株式

## ドイチェ・ジャパン・グロース・オープン(愛称: 咸臨丸)の特色

当ファンドは、信託財産の積極的な成長を目指して運用を行います。

- 特色1** わが国の取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している中型・小型株を主要投資対象とします。
- 特色2** 主に創業期から離陸した企業、次なる飛躍を目指した企業に投資します。
- 特色3** 企業の「創業期」、「成長期」及び「再成長期」をとらえます。



※上記は、本資料作成時点のものであり、今後変更となる場合があります。  
また、市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## ファンドのリスクについて

当ファンドは、株式などの値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属することとなります。当ファンドの基準価額は、主に以下のリスクにより変動し、損失を生じるおそれがあります。以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載するものの一部です。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご参照下さい。

### 株価変動リスク

当ファンドは主に株式に投資しますので、ファンドの基準価額は組入れている株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。また、株式の発行者に経営不振もしくは債務不履行等が生じた場合、またはそれらが予想される局面となった場合には、当該株式の価格は大きく下落することがあります(価格がゼロになることもあります)。このような場合には、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

### 信用リスク

投資した株式について、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化を含む信用状況等の悪化は価格下落要因のひとつであり、これによりファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

### ファンドの資金流入に伴うリスク

ファンドの追加設定(ファンドへの資金流入)及び一部解約(ファンドからの資金流出)による資金の流入に伴い、基準価額が影響を受ける場合があります。大量の追加設定があった場合、原則として迅速に有価証券の組入れを行います。買付け予定銘柄によっては流動性などの観点から買付け終了までに時間がかかることがあります。同様に大量の解約があった場合にも解約資金を手当てするために保有証券を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市場動向や取引量等の状況によって、基準価額が大きく変動する可能性があります。

投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。  
当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。外部データ等の参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料記載の個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。取得のお申込みに当たっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。



# ドイチェ・ジャパン・グロース・オープン (愛称: 咸臨丸)

追加型投信/国内/株式

## ご投資の手引き

- 申込価額 取得申込受付日の基準価額
  - 申込単位 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社へお問合せ下さい。
  - 取得申込み・換金の受付 原則として販売会社の営業日の午後3時(平日営業日は午前11時)までに取得申込・換金請求が行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。
  - 信託期間 信託設定日(平成11年7月30日)から無期限  
●ただし、残存口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託を終了させていただくことがあります。
  - 決算日 年1回(原則として毎年3月10日)とします。ただし当該日が休業日の場合は翌営業日を決算日とします。
  - 収益分配 毎決算時に、信託約款に定める収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
  - 換金価額 換金請求受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額
  - 換金単位 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社へお問合せ下さい。
  - 換金代金支払日 原則として、換金請求受付日から起算して4営業日目から販売会社においてお支払いします。  
(注) 受益権の買取りによる換金については、販売会社にお問合せ下さい。
- ※確定拠出年金制度による取得申込みの場合、上記の内容と異なる場合があります。
- 課税関係 原則として、分配時の普通分配金ならびに解約時及び償還時の差益に対して課税されます。  
(注) 法人受益者の場合は課税が異なります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。税法が改正された場合等には、上記の内容が変更されることがあります。

## 投資家の皆様が負担する費用

時期	項目	費用
＜直接ご負担いただく費用＞		
申込時	申込手数料	取得申込受付日の基準価額に3.15% (税抜3.0%) を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額
換金(解約)時	信託財産留保額	換金請求受付日の基準価額に0.5% を乗じて得た額
＜ファンドで間接的にご負担いただく費用＞		
毎日	信託報酬	信託財産の純資産総額に対し年率1.89% (税抜1.80%)

※この他に、純資産総額に対して年率0.10%を上限として諸費用等(監査費用、法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用等を含みます。)が信託財産から差し引かれます。また、信託財産の組入価値証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用等についても、別途信託財産が負担します。当該費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。なお、投資家の皆様が負担する費用等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご参照下さい。  
※収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。  
※「税」とは、消費税及び地方消費税に相当する金額のことを指します。

## 委託会社およびその他の関係法人

- 販売会社: 当ファンドの販売会社は、委託会社の下記照会先までお問い合わせ下さい。  
(当ファンドの募集の取扱い、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金・償還金及び一部解約金の支払い等を行います。)  
※投資信託説明書(目論見書)の提供は、販売会社にて行います。
- 委託会社: ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号  
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会  
(信託財産の運用指図、投資信託説明書(目論見書)・運用報告書の作成等を行います。)  
(照会先) フリーダイヤル: 0120(442)785 (受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで)  
ホームページアドレス: <http://www.damj.co.jp/>
- 受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託委託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)  
(信託財産の保管・管理、基準価額の計算、外国証券を保管・管理する外国の金融機関への指図等を行います。なお、信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託することができます。)

投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいませうお願い申し上げます。  
当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。外部データ等の参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もししくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料記載の個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。取得のお申込みに当たっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。



# ドイチェ・ジャパン・グロース・オープン (愛称: 咸臨丸)

追加型投信/国内/株式

当ファンドの販売会社は以下の通りです。

(五十音順)

金融商品取引業者名	登録番号	加入協会			備考	
		日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会		
イーバンク銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第609号	○		○	
いちよし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第24号	○			
SMBCフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号	○	○		
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○			
株式会社 ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社 証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○			
ドイツ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第117号	○		○	
成瀬証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第127号	○			
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	
日本生命保険相互会社	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第36号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	*
株式会社 肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○			
廣田証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第33号	○			
三井生命保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第122号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	

※備考欄に\*の表示がある場合、新規申込の取り扱いを中止しております。

投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。  
 当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。外部データ等の参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料記載の個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。取得のお申込みに当たっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。